

紫竹



京都市立紫竹小学校
校長 福間 拓

〒603-8422 京都市北区紫竹下園生町 26 番地

TEL 4 9 1 - 6 0 0 5 Fax 4 9 1 - 6 1 2 5

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=100809>

紫竹小学校 学校教育目標

「紫竹の風土、人の力に誇りをもち、自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成」



我慢するということ～意味のある我慢の大切さ～

校舎を回っていると、発表している子どもの長い話を、学級の子どもたちみんながしっかりと顔を見て真剣に聞いている様子をよく見ます。また、ある日は、国語の学習で端末の検索機能を使わずに黙々と辞書を引いて意味調べをしている様子も見ました、また給食の配膳の際には、どの子どもも当番の子が動きやすいように静かに席について待っている様子も見られます。休み時間や放課後にテストのやり直しを何度も何度もできるまでしている様子も見られます。またトイレのスリッパが乱れていれば黙って揃えてくれる子どももいます。これらのことは当たり前とは言え「相手のことを考える」「自分が今しなければいけないことをする」「自分で決めたことを守る」「ルールを守る」などセルフコントロールの能力（自制心）を使い、ある意味「意味のある我慢」に励んでいることになります（「みんな偉い！」）。

そう考えると、学校とは結構、いやたくさんの我慢や辛抱をしなければいけないところなのかもしれません。そのような中、紫竹校の子たちは上記のような「意味のある我慢」に日々励んでいます。でも、子どもです。時としてうまく我慢や辛抱ができないこともあります。その都度「意義」「目的」「方法」「自分はどうか」などを教員から真剣に話を聞いたり、学級みんなで真剣に話し合ったりする様子もよく見られます。

ところで、子どもも大人も（もちろん私も含めて）、昔に比べて「我慢」や「辛抱」というような言葉の価値が若干下がってきたように思いませんか。社会の変化だから仕方がないのかもしれませんが、私は子どもの頃「おもちゃがほしい」「お寿司が食べたい」「遊びたい」「怠けたい」等々「あれもしたい」「これもしたい」「楽をしたい」という欲求の塊だったような気がします。でも、その欲求はなかなか実現せず、我慢したり、辛抱したりしてきました。「してきました」というより、親から「我慢させられた」「躪けられた」というのが正しい表現かもしれません。

保護者の皆さんも多かれ、少なかれ幼い頃に色々と我慢や辛抱をしてこられたかと思います。だからこそ、子どもにはできるだけ我慢や辛抱をさせたくないというおmoiを親としてもたれることもあるのかなと思います。また反対に、必要な我慢や辛抱をさせなければいけないと思われることもあるのかなと思います。社会が変化している中でどのように捉え考えていくかは、よく考えるとなかなか難しいことです。

理由もなく我慢や辛抱を強いることは人の思考を奪います。ただ従うだけの人間を育ててしまう危険性があり、時代の変化とともに見直されてきています。人の気持ちを尊重し合理的であることも意識して多様性を認めていく。これらは間違いなく必要な変化であり、考え方の基本となるものです。しかしその一方で「理由がなければやらなくてよい」「不快なことはさけてよい」という感覚が広がっている面もあるのではないのでしょうか。

学校の外に目を向けると、社会に出ると「やりたいこと」だけでは生きていけなく、我慢や辛抱に向き合い、折り合いをつけて生きていく側面があります。そして子どもたちがこれから生きていく社会は技術の発達、社会変化の中、決して思い通りになることばかりではないと思います。子どもたちには、やりたいことを実現するためにも、地味な役割や目立たない役割や周りがやりたがらないことも率先して引き受け、我慢すべきは我慢してチャンスを広げていくような人になってほしいと考えます。だからこそ小さな負荷と向き合い、それを乗り越える経験を積むことも重要であると考えます。これはセルフコントロールの能力（自制心）、ひいては（※）非認知能力を身につけていくことにもつながります。

簡単でないことは重々承知の上ですが、学校では引き続き、学級、学年、学校という「小さな社会」の中、学習、学校生活全般で人との関わりの中で学ぶようにしていきたいと思います。もちろん一人一人の子どもの状況にも合わせて向き合い、粘り強く、繰り返し「意義」「目的」「方法」「自分はどうか」など物事の価値を伝えていきたいと思います。そして、これらのことも学校と家庭、地域が引き続き連携して取り組んでいくことが大切になります。家庭、地域の皆様の温かい見守りやお声かけが子どもたちにとって大きな励みとなります。子どもの努力や伸びを粘り強く励まし、お声かけいただくようどうぞよろしくお願いいたします。合わせて、引き続きご理解、ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

（※）非認知能力とは、学力や体力などと違い、数値で表すことのできない人間の気質や性格的な特徴のことです。具体的には、忍耐強さ・根気強さ・自制心（心の強さ）、意欲・誠実・好奇心（興味・やる気）、社交性・協調性（思いやり・協力）などのことです。特に「自制心」「忍耐強さ」「根気強さ」は重要だと言われています。

校長 福間 拓

10月 **行事予定**

	曜	学校行事	保健関係	PTA・地域関係	まなび
1	木	校内研究授業 2 い (2 い以外 13 時 20 分完全下校)	フッ化物洗口 (1・3・5・た)		
2	金	ALT SC SSW	フッ化物洗口 (2・4・6年)		○
3	土				
4	日				
5	月				○
6	火	4 年さすてな京都 (午前中) 食に関する指導 6 い たてわり遊び ロング昼休み			○
7	水	ALT 委員会活動 避難訓練 (防犯)			○
8	木		フッ化物洗口 (1・3・5・た)		
9	金	代表委員会 SC SSW	フッ化物洗口 (2・4・6年)		○
10	土				
11	日			区民体育祭	
12	月	スポーツの日		区民体育祭予備日	
13	火	5 年花背山の家 ALT 食に関する指導 6 ろ諸費振替日			○
14	水	5 年花背山の家			○
15	木	5 年花背山の家			
16	金	5 年 3 時間目登校 SC SSW	フッ化物洗口 (全学年)		○
17	土				
18	日				
19	月				○
20	火	5 年わくわく WORK LAND (終日) ALT		学校運営協議会 企画推進委員会	○
21	水	クラブ活動			○
22	木		フッ化物洗口 (1・3・5・た)		
23	金	5 時間授業スキルアップデイ 完全下校 14:40 SC SSW	フッ化物洗口 (2・4・6年)		
24	土				
25	日	京都市小学生陸上記録会・持久走記録会			
26	月	諸費振替日 (再) 業者トイレ清掃 体育発表会前日準備 完全下校			
27	火	体育発表会			○
28	水	体育発表会予備日			○
29	木	体育発表会予備日	フッ化物洗口 (1・3・5・た)		
30	金	SC SSW	フッ化物洗口 (2・4・6年)		○
31	土				

11月の行事予定

(11月～1月は、午後4時完全下校とします。)

予定になりますので、変更する場合があります。)

2日(月) 1・2年校外学習(植物園)(雨天12日) 加茂川中学校チャレンジ体験(～6日)	16日(月) もみじ読書週間(～20日)
4日(水) 委員会活動 歯科検診(1・5年・たいよう)	17日(火) 就学時健康診断(13:20完全下校)
5日(木) 北上育成合同運動会(元町)	18日(水) 4年京都モノづくり殿堂・工房学習(午後)
6日(金) 3年自転車ルール・マナー教室 1年歯磨き巡回指導②	20日(金) 音楽発表会 6年制服採寸(15:30～16:20)
9日(月) 代表委員会	24日(火) 5・6年伝統芸能「柿山伏」(体育館)
10日(火) 諸費振替日 たてわり遊び	25日(水) 6年小中交流会(午後) 諸経費振替(再)
11日(水) クラブ活動⑥	27日(金) 5時間授業スキルアップデイ 完全下校
13日(金) 加茂川中学校入学説明会(加茂川中) 歯科検診(3・6年)	30日(月) 6年茶道教室①②6い③④6ろ 歯科検診(2・4年)

令和8年度入学児童の就学時健康診断 11月17日(火)午後

受付は紫竹小学校の体育館で行います。教育委員会より送付された書類に必要事項をご記入の上お越しください。就学時健康診断以降の予定は、本校ホームページに掲載する予定です。

学校の様子

シェイクアウト訓練 9月1日(火)



シェイクアウト訓練は地震の際の安全確保行動を身につける訓練です。中間休みに訓練の緊急放送が鳴り、教室にいた子どもたちは一斉に机の下に避難しました。廊下にいた子どもも安全な場所ではがんで頭を守っていました。運動場にいた子どもたちも運動場の真ん中に集まり、それぞれ自分の身を守る一次避難を行いました。1分程度の訓練でしたが子どもたちは真剣に取り組んでいました。いざという時、少しでも落ち着いて行動できるよう、紫竹校では各種避難訓練に事前事後学習を含めて力を入れて取り組んでいます。

放課後まなび教室開講 9月2日(水)



2学期の放課後まなび教室が開講しました。2学期からは1年生も参加するため、1年生向けに開講式をしました。校長先生から「自分のめあてをもち、頑張れば力がつきますよ」と励ましてもらいました。1年生の真剣な表情と一緒に参加した2年生、3年生がほほえましく見ていました。また、お世話になる地域の先生方からも励ましの言葉をいただきました。2学期、3学期と頑張って取り組みましょう。地域の先生方どうぞよろしくお願いいたします。

4年総合的な学習の時間「環境学習」9月4日(金)



京都商工会議所が主体なり、環境問題に積極的に取り組んでいる京都の企業の環境技術等を見童に紹介し、京都の企業の取組や環境、科学技術への興味を深める「小学生への環境学習事業」の学習を4年生で行いました。株式会社島津製作所の方に来ていただき、「ごみとりサイクル」について、特に食品ロスやプラごみについての企業での取組や私たちがくらしの中でできることを分かりやすい資料をもとに教えていただきました。子どもたちは初めて知ることも多く、環境学習を始めるに当たりイメージがもてたようです。島津製作所の皆様ありがとうございました。

6 年総合的な学習の時間「地域とつながろう」9 月 7 日（月）



6 年生は、われらの紫竹学区について学習を進めています。地域に子どもの関わる行事がとて多く、地域全体で子どもたちの笑顔の集まる紫竹学区を作ろうとしていただいていることを感じています。紫竹自治連合会の皆様にお越しいただき取組に対するおもいを聞かせていただき、また、子どもたちの質問にも答えていただきました。「子どもたちにできるだけよい体験をさせていこうと取り組んでいただいていること」「子どもたちが喜び、大人と一緒に楽しめる企画を熱心に考えていただいていること」「子どもたちの安全・安心のために取り組んでいただいていること」「子どもたちを中心据えて取組を考えていただいていること」など紫竹自治連合会の皆様の話を聞いて、熱いおもいが伝わりました。これから自分たちで取り組んでいくことを考えていきます。紫竹自治連合会の皆様ありがとうございました。

「HANA モデル」緊急時対応実地訓練 9 月 10 日（木）



平成 24 年京都市の小学校での痛ましい事故を教訓に、京都市の小学校では子どもたちの命を守りきるため、事故の未然防止と緊急時の対応に適切に取り組めるように、全市共通の実地訓練を「HANA モデル」という名称のもと、取り組みを進めています。今年度、紫竹校では落下事故が起きた事例を想定した訓練を実施しました。教職員が児童役、教職員役、保護者役などに分かれて、実際に AED を使用、放送、電話連絡、救急車対応などを実施し、迅速な初動対応、組織的な対応、正確な情報招集などのポイントを意識して緊張感をもち訓練に取り組みました。その後、それぞれの役割に分かれて、振り返り、反省や改善点について熱心に話し合いをもちました。事故に備え、これからも「実地訓練」を継続して取り組んでいきます。

4 年総合的な学習の時間「車いす体験」9 月 18 日（金）



6 月、7 月に引き続き、北区社会福祉協議会と紫竹社会福祉協議会、PTA の皆様にご協力いただき、体育館にて、車いす体験をしました。まずは、車いすの使い方とコースの説明を聞いて、体験開始しました。コースはスロープ→自販機→扉→せまい道→ぬかるんだ道（マット）といった感じに進んでいきました。

一人で車いすを操作する難しさや介助される側の気持ちを体験するなど、日頃なかなか体験できないことを学習しました。北区社会福祉協議会と紫竹社会福祉協議会、PTA の皆様、ありがとうございました。